

知事から各部長への指示事項

- 県内では、新しい感染者の確認が連日二桁を超える日が続いている状況です。直近1週間の感染者数、療養者数、病床占有率の指標も、県の「感染症対応の目安」のステージ「警戒（オレンジ）」の水準を超えてきています。
- このため、県の「目安」のステージを「特別警戒（赤）」に引き上げることにしました。
- 前回の本部会議以降の感染状況を見ると、引き続き、感染拡大のキーワードは「飲食・会食」になっています。また、70歳以上の高齢者の方の感染も目立って増えており、こうした部分に手を打たなければいけないと考えます。
- このため、県民の皆さまへの追加的な呼び掛けとして、今後1週間という期間を区切り、高齢者や基礎疾患のある方など重症化のリスクが高い方については、「酒類を提供する飲食店」への外出を控えていただくようお願いすることとしました。
- また、会食については、「目安」では「小規模グループかつ短時間で」としていましたが、人数を「4人以下のグループ」に、時間を「2時間以内」という具体的な数字の目安を示してお願いすることにしました。
- 併せて、農林水産省に対しては、「G o T o イート」事業に関しても、この趣旨を踏まえた対応を要請することとしました。
- こうした取り組みは、今後1週間を目途とし、感染状況の分析などを踏まえて、その後どうしていくか、改めて判断していくことにしたいと思います。
- 一方、「特別警戒（赤）」に引き上げましたが、とり得る措置の中で、「G o T o キャンペーン」事業の一時停止の選択肢はありましたが、県内の感染拡大に関しては、「県をまたぐ移動」が特段のキーワードにはなっておらず、「飲食・会食」が決定的なキーワードですので、「G o T o イート」事業については制限をお願いしますが、「G o T o トラベル」事業の一時停止といった点を国にお願いするべき段階には至っていないと判断します。

- また、県の「目安」の中で、飲食店への時間短縮営業、休業の要請などの検討・実施を選択肢に入れていましたが、これについても、現状は都道府県がとり得る措置のうち、飲食店の皆さまへの時間短縮や休業の要請は最後の最後の手段だと考えていますし、「社会経済活動」と「感染拡大防止」を両立していくことから、営業したいという事業者の方々がおられる以上、一律に自粛を求めることに関しては慎重でなければいけないという思いもあります。
- 現段階では、飲食店の皆さまへの時間短縮営業等の要請については踏み込まず、今後の感染状況や医療の逼迫状況を踏まえて判断することにしたいと考えています。
- いずれにしても、大きな流れとして、「経済活動の回復」と「感染拡大防止」の両立が求められることは変わってないと思いますが、現在は、経済活動を回復していくためにも、今までよりも「感染拡大防止」にウエイトを置いていかざるを得ない状況だと考えていますし、何よりも、さらに感染拡大が先行している都道府県の状況を見ると、医療提供体制の崩壊を何としても防いでいくことが大事になってくると考えます。
- このため、各部局においては、以下の対応について、特に万全を期してもらいたいと思います。
- まず、医療面について、高知医療センターに併設されている「やまもも」で受け入れを開始していますが、療養者数が急増しています。健康政策部を中心に、民間のホテルなどでの受け入れ開始に向けて、早急に準備を進めてください。
- そして、感染防止対策の面で、本日呼び掛けた会食時の取り組みについては、県職員にも同様の措置を求めますので、各部で職員にさらに周知徹底してください。
- また、先週以来の感染拡大の中で、大変残念なことですが、教育委員会や警察本部を含めた県職員においても、感染の事例が見られるようになってきています。職員自身も自らもう一度気を引き締めて、感染防止対策をきっちり行うよう、併せて各部から徹底をお願いします。

以上

高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年12月9日時点)

判断指標 ※1	ステージ	感染観察 (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
	直近7日間の新規感染者数	0～3人	4人以上	14人以上	105人以上	175人以上
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> □ 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1～2m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに換気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 □ 各店舗における適切な感染対策の徹底 				
	国の分科会のステージ区分	Ⅰ 散発的発生		Ⅱ 漸増	Ⅲ 急増	Ⅳ 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設		開館		屋内施設の休館を検討	休館
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断				

※1 判断指標については、①全療養者数 (特別警戒：105人以上)、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合 (特別警戒：50%)、⑥PCR陽性率 (特別警戒：10%以上) の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。

県民・事業者の皆さまへ（令和2年12月9日～）

直近7日間（12/3～12/9）の
新規感染者数：116名



「新型コロナウイルス感染症対応の目安」の
ステージを「**特別警戒（赤）**」に引き上げ

感染拡大を防止するため、12月16日（水）までの間、
県民・事業者の皆さまに以下の取り組みをお願いします。

県民の皆さまへ

<外出について>

- ・飲食店を利用する際は、「新型コロナウイルス対策の実施中」を示すポスターの掲示を目安に、ガイドラインを遵守しているお店を選んでください。
- ・「ガイドラインが遵守されていない」酒類を提供する飲食店の利用は、控えるようお願いします。
- ・特に、**高齢者や基礎疾患のある方など、重症化のリスクの高い方は、「酒類を提供する飲食店」への外出を控えるようお願いします。**

<会食について>

- ・人数は「**4人以下のグループ**」で、時間は「**2時間以内**」にしてくださいようお願いします。

<基本的な感染防止策の徹底について>

- ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒
- ・こまめに換気 ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて
- ・感染リスクが高まる「**5つの場面**」に特に注意
（別紙参照）

事業者の皆さまへ

- ・ガイドライン等に基づく感染防止対策がきちんと行われているか、改めて確認してください。
- ・特に、酒類を提供する飲食店の皆さまは、ガイドラインの遵守をお願いします。
- ・感染防止対策が不十分な場合には、対策の徹底をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

